

MIXON8^{PRO}

4-CHANNEL PROFESSIONAL HYBRID DJ CONTROLLER

取扱説明書



This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful inference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

注意！

安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。

警告！

火災や感電を防ぐため、装置を水や液体にさらさないでください！
また、本体は分解しないでください！



Reloop Trademark
Global Distribution GmbH & Co. KG
Schuckertstr. 28
48153 Muenster / Germany
© 2022

注意！

安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。この製品は、ヨーロッパと国家規制要件に準拠しており、適合が証明されています。それぞれの声明と文書はメーカーに保管されています。

Reeloo Mixon 8 Pro をパッケージから取り出してください。最初の操作の前に、デバイスが輸送中に目に見えて損傷していないことを確認してください。電源ケーブルや筐体に損傷が見つかった場合は、デバイスを操作せずに、専門の販売店にお問い合わせください。

安全にご使用いただくために

注意！

電源電圧の取り扱いには十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につながる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不適切な使用による人身損害の責任を負いません。

- 本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にするためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。
- 安全性と認可（CE）の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の修正に起因する損害の場合、どのような保証請求も除外される点にご注意ください。
- 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。
- 電源は、デバイスが完全にセットアップされた後に供給されることを確認してください。
- 規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやネジが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。
- 本製品をセッティングする際に、USB ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。
- 使用しない場合、また掃除を行う前には接続を解除してください。その際、必ず USB ケーブルのプラグ部分を持つようにしてください。
- 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。
- 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。
- 設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。
- 本製品の上に液体をこぼしやすい容器を置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに主電源を抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による損害は保証の対象外となります。
- 極端な高温（35°C 以上）、または極端な低温（5°C 以下）で本製品を使用しないでください。直射日光、ラジエーター、オープン（閉じられた車内も含みます）などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気孔をふさがないでください。常に十分な換気を確保してください。
- 本製品は、冷えた環境から暖かい環境に移動した直後に動作させないでください。この状況で起こる結露によって故障の原因となります。周囲の温度に達するまで電源を入れずにお待ちください。
- コントロールやスイッチには、クリーニング剤や潤滑油などのスプレーを使用しないでください。本製品は湿った布できれいに拭きとるだけにしてください。クリーニングのために石油ベースの溶剤や、洗浄液を使用しないでください。
- 本製品を、移動や輸送する際、購入時に梱包されていた箱をご使用ください。
- 商業的な施設では、管理者や責任者によって定められた事故防止の規則を遵守しなければなりません
- 学校、トレーニング施設、趣味、ワークショップなどで本製品を使用する際は、訓練されたスタッフの責任のもとで監視する必要があります。
- 後に質問や問題が発生した場合、参照するためにこの取扱説明書を安全な場所に保管してください。

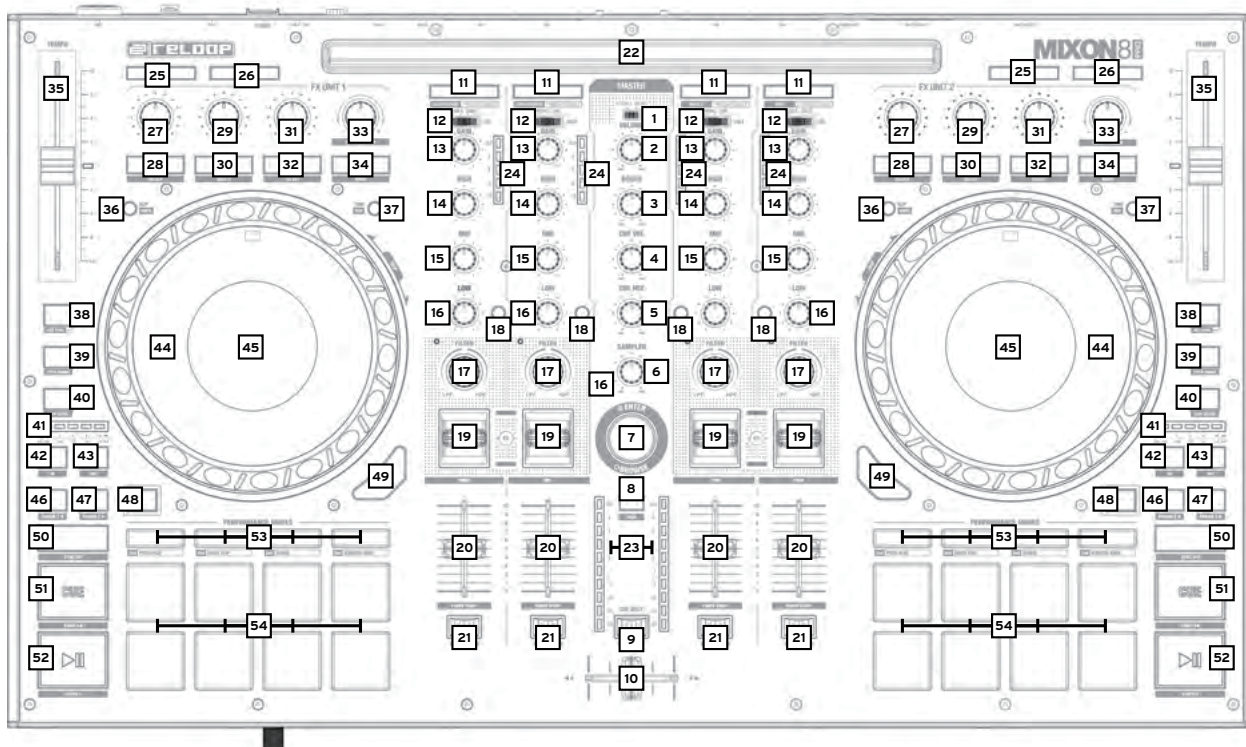
規則に従った使用方法について

- 本機は、オーディオ信号の調節やミキシングができる 4 チャンネル DJ コントローラーです。本機には、タブレットやパソコン、オーディオアンプやアクティブスピーカーなどを接続する必要があります。
- 本機を取扱説明書に記載されている以外の目的で使用した場合、製品に損傷を与え、保証の権利が失われることがあります。また、目的以外に使用すると、ショート、火災、感電などの危険があります。
- メーカーが定めたシリアルナンバーは、保証のために絶対に外さないでください。

メンテナンス

- 主電源ケーブルや筐体に損傷がないか、ボタンやスイッチなどの消耗部品が摩耗していないかなど、機器の技術的安全性を定期的に確認してください。
- 安全な操作ができなくなったと思われる場合には、デバイスを切り離し、誤って使用されないように保護する必要があります。主電源は必ずコンセントやパソコンから外してください。
- デバイスに目に見える欠陥がある場合、デバイスが機能しなくなった場合、好ましくない条件での長期保管や大きな輸送ストレスの後には、安全な操作ができなくなっていると考えする必要があります。

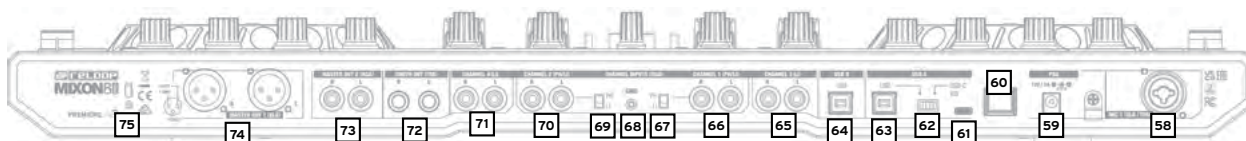
操作子



フロントパネル



リアパネル



セットアップ

1. 出力機器（スピーカー、ヘッドフォンなど）を Mison 8 Pro に接続します。音声は、マスター出力（XLR、RCA）とブース出力（6.3mm 標準ジャック）から出力されます。
2. 入力機器（マイク）を Mison 8 Pro に接続します。それぞれのマイク入力の出力は、マイク 1 の場合はチャンネル 3 で、マイク 2 の場合はチャンネル 4 で制御されます。対応する入力信号は、事前にチャンネルで選択しておく必要があります。
3. Mison 8 Pro の電源がオフになっていること、マスターとブースのコントロールが「Min」に設定されていることを確認します。
4. すべてのユニットを電源に接続し、ユニットのスイッチを入れます。
5. 使用するソフトウェアのインストールは、以下の手順を参照してください。

ソフトウェアのインストール

Serato DJ Pro のインストール : macOS

- serato.com で「Products」をクリックし、「Serato DJ Pro」のダウンロードを選択します。
- serato.com にまだログインしていない場合は、アカウントを作成してください。
- ログイン後、「Products」→「Serato DJ Pro」をクリックすると、Serato DJ Pro の最新版と右側にダウンロードバナーが表示されます。
- クリックするとインストールファイルがダウンロードされます。
- ダウンロードが完了したら、インストールを開始します。
- 利用規約を読み、終了したら「同意する」をクリックします。
- インストールが完了するまで、画面の指示に従ってください。
- インストールが完了すると、Serato DJ Pro ソフトウェアが「アプリケーション」フォルダーに表示されます。

注意！

お使いのオペレーティング・ソフトウェアによっては、セキュリティ設定で Serato DJ Pro のアクセスを有効にする必要がある場合があります。

Serato DJ Pro のインストール : Windows

- serato.com にアクセスして「Products」をクリックし、「Serato DJ Pro」のダウンロードを選択します。
- serato.com にまだログインしていない場合は、アカウントを作成してください。
- Serato DJ Pro の最新版と右側にダウンロードバナーが表示されます。
- クリックすると、インストールファイルがダウンロードされます。
- Serato DJ Pro Windows Installer は、Windows エクスプローラで開くことができる「アーカイブされた」ZIP ファイルとして表示されます。または、Winzip や 7zip など、お気に入りのアーカイブマネージャーを使用することもできます。
- ダウンロードが完了したら、インストールを開始します。
- Windows Explorer を使用している場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、Serato DJ Pro の実行ファイルが表示されます。
- Winzip や 7zip などのサードパーティーのアーカイブマネージャーを使用している場合は、コンテキストメニューで右クリックし「Extract Here」を選択すると、Serato DJ Pro ファイルが抽出され、元のファイルを保存するために選択した場所に配置されます。
- アーカイブを開くか解凍した後、出来上がったアーカイブの Serato DJ Pro exe ファイルをダブルクリックすると、Serato DJ Pro のセットアップが開始されます。ライセンス条項が表示されます。ライセンス条項に同意するにチェックを入れ、「インストール」をクリックしてください。

注意！

Windows をお使いの場合は、ASIO ドライバーをインストールする必要があります！製品ページにアクセスして、ASIO ドライバーをダウンロード＆インストールしてください (<https://dirigent.jp/reloop/mixon-8-pro>)。

djay Pro AI のインストール : iPad/iPhone

App Store から djay Pro AI アプリをダウンロードします。

- App Store から djay Pro AI アプリをダウンロードします。
- USB ソーススイッチ -62- を「iOS」に設定します。
- 既存の Lightning または USB-C ケーブルを Reelap Mixon 8 Pro の USB-"iOS " ポート -61- と、「iOS " デバイスに接続します。
- 先にダウンロードした djay Pro AI アプリを開いてください。

Mixon 8 Pro が自動的に認識され、操作できるようになります。

操作

Serato DJ Pro		djay Pro AI
ミキサーセクション：		
1. Stereo/Mono-Switch	マスター出力をステレオ、モノどちらの出力にするか選択します。	マスター出力をステレオ、モノどちらの出力にするか選択します。
2. Volume (Master)	マスター出力ボリュームを調整します。	マスター出力ボリュームを調整します。
3. Booth	ブース出力ボリュームを調整します。	ブース出力ボリュームを調整します。
4. Cue Vol	ヘッドフォン出力のボリュームを調整します。	ヘッドフォン出力のボリュームを調整します。
5. Cue Mix	試聴用にキュー信号とマスター信号をミックスします。	試聴用にキュー信号とマスター信号をミックスします。
6. Sampler	サンプラー出力のボリュームを調整します。	サンプラー出力のボリュームを調整します。
7. Browse-Encoder	ブラウズエンコーダーはライブラリ内をナビゲートします。ブラウズエンコーダーを押して選択します。 - SHIFT キーを押しながらブラウズエンコーダーを回す：高速ブラウジング（クイック検索）。 - SHIFT キーを押しながら Browse Encoder を押す：波形ビューとライブラリビューを切り替えます。	ブラウズエンコーダーはライブラリ内をナビゲートします。ブラウズエンコーダーを押して選択します。 - SHIFT キーを押しながらブラウズエンコーダーを回す：高速ブラウジング（クイック検索）。 - SHIFT キーを押しながらブラウズエンコーダーを押す：N/A
8. Back	Back ボタンは、ナビゲーションで 1 回につき 1 つ前のメニュー項目に戻ります。 - SHIFT キーと Back：利用可能なビューを切り替えます。	Back ボタンは、ナビゲーションで 1 回につき 1 つ前のメニュー項目に戻ります。 - SHIFT キーと Back：プレイリストビューを拡大します。
9. Cue Split	ヘッドフォン信号をマスター信号と選択されたプリリスニング信号に分離します。	ヘッドフォン信号をマスター信号と選択されたプリリスニング信号に分離します。
10. Crossfader	選択した左チャンネルと右チャンネルの間でクロスフェードします。 注意！：クロスフェーダーアサインスイッチ（21.）を使用して希望のチャンネルをサイドに割り当てるか、完全にオフにすることができます。 - A：左クロスフェーダー側 - センター：割当無効 - B：右クロスフェーダー側	選択した左チャンネルと右チャンネルの間でクロスフェードします。 注意！：クロスフェーダーアサインスイッチ（21.）を使用して希望のチャンネルをサイドに割り当てるか、完全にオフにすることができます。 - A：左クロスフェーダー側 - センター：割当無効 - B：右クロスフェーダー側
11. Load Channel (1-4)	ライブラリから選択したトラックをデッキにロードします。 ダブルクリックして、再生トラックを両方のデッキに割り当てます（インスタントダブル）。 - SHIFT+Load Channel 3：選択したトラックを Prepare フォルダにロードします。 - SHIFT+Load Channel 1：Prepare フォルダを開きます。 - SHIFT+Load Channel 2：利用可能な SDJ ウィンドウ（FX、SP-6、Rec など）を切り替えます。 - SHIFT+Load Channel 4：ユーザーインターフェース（ファイル、ブラウザーなど）を切り替えます。	ライブラリから選択したトラックをデッキにロードします。 - SHIFT+Load Channel 3：選択したトラックをデッキのキュー リストにロードします ***** - SHIFT+Load Channel 1：キュー リストを開く / 閉じる ***** - SHIFT+Load Channel 2：異なるデッキビューを切り替えます。 - SHIFT+Load Channel 4：異なるライブラリ ソース間の切替を行いません（iTunes/ サポートされているストリーミングサービス / ビデオ / 履歴 / ファインダー） ***
12. Signal-In-Switch	各チャンネルの入力信号を選択します。 - チャンネル 3：マイク 1/USB A/USB B/ ライン - チャンネル 1：USB A/ フォノライン /USB B - チャンネル 2：USB A/ フォノライン /USB B - チャンネル 4：マイク 2/USB A/USB B/ ライン "	各チャンネルの入力信号を選択します。 - チャンネル 3：マイク 1/USB A/USB B/ ライン - チャンネル 1：USB A/ フォノライン /USB B - チャンネル 2：USB A/ フォノライン /USB B - チャンネル 4：マイク 2/USB A/USB B/ ライン
13. Gain	チャンネル入力レベルをコントロールします。	チャンネル入力レベルをコントロールします。
14. EQ High	高域をコントロールします。	高域をコントロールします。
15. EQ Mid	中域をコントロールします。	中域をコントロールします。
16. EQ Low	低域をコントロールします。	低域をコントロールします。
17. Filter	左に回すとローパスフィルター、右に回すとハイパスフィルターになります（チャンネルフィルターが有効になると LED が点灯します）。	左に回すとローパスフィルター、右に回すとハイパスフィルターになります（チャンネルフィルターが有効になると LED が点灯します）。
18. PFL Cue	選択したチャンネルをキューチャンネルにルーティングします（試聴チャンネル）。 - SHIFT を押しながら音楽に合わせて PFL キューを押すと、BPM 値を決定します。	選択したチャンネルをキューチャンネルにルーティングします（試聴チャンネル）。 - SHIFT を押しながら音楽に合わせて PFL キューを押すと、BPM 値を決定します。
19. FX-Paddle	各 FX ユニットで選択したエフェクトを有効にします。 （デッキ 3/1 は FX ユニット 1、デッキ 2/4 は FX ユニット 2） - センターポジション：エフェクトはオフになります。 - ON（エフェクトトグルスイッチを前面に押す）：エフェクトは有効のまま保持されます。 - HOLD（プルバックエフェクトトグルスイッチ）：一時的にエフェクトが有効になります。 注意！ ソフトウェアに含まれているエフェクトから選択できます。	各 FX ユニットで選択したエフェクトを有効にします。 （デッキ 3/1 は FX ユニット 1、デッキ 2/4 は FX ユニット 2） - センターポジション：エフェクトはオフになります。 - ON（エフェクトトグルスイッチを前面に押す）：エフェクトは有効のまま保持されます。 - HOLD（プルバックエフェクトトグルスイッチ）：一時的にエフェクトが有効になります。 注意！ ソフトウェアに含まれているエフェクトから選択できます。
20. Channelfader	チャンネルボリュームを調節します。	チャンネルボリュームを調整します。
21. Crossfader Assignment Switch	Crossfader Assignment Switch は、選択したチャンネルをクロスフェーダー側に割り当てたり、完全にオフにします。 - A：左クロスフェーダー側 - 中央位置：クロスフェーダーに割り当てない - B：右クロスフェーダー側	Crossfader Assignment Switch は、選択したチャンネルをクロスフェーダー側に割り当てたり、完全にオフにします。 - A：左クロスフェーダー側 - 中央位置：クロスフェーダーに割り当てない - B：右クロスフェーダー側 "
22. Docking Station	ドッキングステーションには iOS デバイスを置くことができます。	ドッキングステーションには iOS デバイスを置くことができます。
23. Master Volume LED Bar	マスターボリュームを LED で表示します。	マスターボリュームを LED で表示します。
24. Channel Volume LED Bar	チャンネルボリュームを LED で表示します。	チャンネルボリュームを LED で表示します。

Serato DJ Pro		djay Pro AI
エフェクトセクション：		
25. Mic 1/2 ON	それぞれのチャンネル（1/4）でマイクを装備します。 注意！ マイクチャンネルを有効にするには、目的のチャンネルの信号入力スイッチ（12）をマイクに設定します。 - チャンネル 1：マイク 1 - チャンネル 4：マイク 2	それぞれのチャンネル（1/4）でマイクを装備します。 注意！ マイクチャンネルを有効にするには、目的のチャンネルの信号入力スイッチ（12）をマイクに設定します。 - チャンネル 1：マイク 1 - チャンネル 4：マイク 2
26. Mic 1/2 Talkover	選択したマイク（1/2）のトークオーバー機能を有効 / 無効にします。	選択したマイク（1/2）のトークオーバー機能を有効 / 無効にします。
27. FX 1-Encoder (FX Unit 1/2)	- シングル FX モード:FX パラメーター（FX デプス）を制御します。 - SHIFT シングル FX Mode:FX ユニットのエフェクトを選択します - マルチ FX モード：FX / スロット 1 の FX 深さを制御します。 - SHIFT マルチ FX モード：FX ユニット / スロット 1 のエフェクトを選択します	- シングル FX モード：N/A - マルチ FX モード：FX Slot 1 の Dry/Wet の値をコントロールします。 - SHIFT：N/A
28. FX 1 Arm (FX Unit 1/2)	- シングル FX モード：エフェクトを有効 / 無効にします。 - マルチ FX モード：エフェクト 1 を有効 / 無効にします。 - SHIFT+FX 1 Arm：FX スロット 1 のエフェクト スロット メニューを切り替えます。	エフェクト 1 を有効 / 無効にします。 - SHIFT+FX 1 Arm：FX スロット 1 のエフェクト スロット メニューを切り替えます。
29. FX 2-Encoder (FX Unit 1/2)	- シングル FX モード：FX パラメーターをコントロールします。 - SHIFT シングル FX モード：N/A - マルチ FX モード：FX/Slot 2 の FX 深さをコントロールします。 - SHIFT マルチ FX モード：FX ユニット /Slot 2 のエフェクトを選択します。	- シングル FX モード：N/A - マルチ FX モード：FX Slot 2 の Dry/Wet 値をコントロールします。 - SHIFT：N/A
30. FX 2 Arm (FX Unit 1/2)	- シングル FX モード：さまざまなパラメーターを有効 / 無効にします。 - マルチ FX モード：エフェクト 2 を有効 / 無効にします。 - SHIFT+FX 2 Arm：FX スロット 2 のエフェクトスロットメニューを切り替えます。	エフェクト 2 を有効 / 無効にします。 - SHIFT+FX 2 Arm：FX スロット 2 のエフェクトスロットメニューを追加します。
31. FX 3-Encoder (FX Unit 1/2)	- シングル FX モード：エフェクトパラメーターをコントロールします。 - SHIFT シングル FX モード：N/A - マルチ FX モード：FX / slot 3 のエフェクトの深さをコントロールします。 - SHIFT マルチ FX モード：FX unit / slot 3 のエフェクトを選択します。	- シングル FX モード：N/A - マルチ FX モード：FX Slot 3 の Dry/Wet 値をコントロールします。 - SHIFT：N/A
32. FX 3 Arm (FX Unit 1/2)	- シングル FX モード：パラメーターを有効 / 無効にします。 - マルチ FX モード：エフェクト 2 を有効 / 無効にします。 - SHIFT+FX 3 Arm：FX スロット 3 のエフェクトスロットメニューを切り替えます。	エフェクト 3 を有効 / 無効にします。 - SHIFT+FX 3 Arm：FX スロット 3 のエフェクト スロット メニューを切り替えます。
33. Beat/Param-Encoder (FX Unit 1/2)	ソフトウェアエフェクトの Beats Multiplier 値を回転させてコントロールします。押すと Beats Multiplier が値 1/1 にリセットされます。 - SHIFT+ 回す：DJ FX の Beats Multiplier 値をコントロールします。 - SHIFT+ 押す：Beats Multiplier 値を 1/1 にリセットします。	FX スロット 1 ～ 3 のパラメーターを回して調整します。押すと、FX スロット 1 ～ 3 のパラメーターが元の値に設定されます。 - SHIFT+ 回す：N/A - SHIFT+ 押す：N/A
34. Tap (FX Unit 1/2)	FX ユニットの押して FX テンポを手動設定します。長押しで値がリセットされます。 - SHIFT+Tab：シングル、あるいはマルチ FX モードのコントロールや表示を切り替えます。	キーを押している間、FX スロット 1 ～ 3 は有効になります。ボタンを放すと、FX スロット 1 ～ 3 が無効になります。 - SHIFT+ タップ：FX モードと Neural Mix™ モードを切り替えます。
プレーヤーセクション：		
35. Pitchfader	トラックのテンポを調節します。 - SHIFT + ピッチフェーダー：トラックのテンポを維持したまま、ピッチフェーダーの位置を変更します。	トラックのテンポを調節します。 - SHIFT + ピッチフェーダー：トラックのテンポを維持したまま、ピッチフェーダーの位置を変更します。
36. Slip	スリップモードを有効 / 無効にします。スリップ モードが有効な場合、トラックは、何もアクションを実行しなかった場合の正確な位置から開始されます。 - SHIFT+Slip:ジョグホイールの Vinyl モードを有効 / 無効にします。 注意！ Vinyl モード が有効になると、ジョグホイールは再生ヘッドを停止します（またはスクラッチします）。ジョグホイールの端を動かすとピッチベンドも可能です。Vinyl モードが無効の場合、ジョグホイールはピッチベンド機能のみが可能です。	スリップモードを有効 / 無効にします。スリップモードが有効な場合、トラックは、何もアクションを実行しなかった場合の正確な位置から開始されます。 - SHIFT+Slip:ジョグホイールの Vinyl モードを有効 / 無効にします。 注意！ Vinyl モード が有効になると、ジョグホイールは再生ヘッドを停止します（またはスクラッチします）。ジョグホイールの端を動かすとピッチベンドも可能です。Vinyl モードが無効の場合、ジョグホイールはピッチベンド機能のみが可能です。
37. Time	経過時間と残り時間を切り替えます（経過時間 / 残り時間）。 - SHIFT+Time：それぞれのデッキの再生方向を逆に切り替えます。キーロックを無効化 / 有効化します。ボタンを長押しするとテンポがリセットされます。	経過時間と残り時間を切り替えます（経過時間 / 残り時間）。 - SHIFT+Time：それぞれのデッキの再生方向を逆に切り替えます。キーロックを無効化 / 有効化します。キーを長押しするとテンポがリセットされます。

	Serato DJ Pro	djay Pro AI
38. Key Lock	キーロックを有効 / 無効にします。ボタンを長押しするとテンポがリセットされます。 - SHIT+ キーロック：キーシンク* を有効 / 無効にします。	キーロックを無効化 / 有効化します。キーを長押しするとテンポがリセットされます。 - SHIT+ キーロック：キーシンクを有効 / 無効にします。
39. Silent Cue	曲がバックグラウンド再生されている間、それぞれのデッキをミュート / ミュート解除します。デッキは、ホットキューボタンで選択したキュー ポイントから再有効化します。 - SHIFT+Censor：ピッチ範囲を変更します。 (+/-8、+/-16、+/-50)	曲がバックグラウンド再生されている間、それぞれのデッキをミュート / ミュート解除します。デッキは、ホットキューボタンで選択したキューポイントから再有効化します。 - SHIFT+Censor：ピッチ範囲を変更します。 (+/-8、+/-10、+/-25、+/-50、+/-75)
40. Auto Loop	選択した自動ループの長さを有効、または無効にします。 ループの長さはループ LED バーで読み取り可能です。 - SHIFT+Auto Loop：選択した保存済ループを有効 / 無効にします。	選択した自動ループの長さを有効、または無効にします。 ループの長さはループ LED バーで読み取り可能です。 - SHIFT+Auto Loop：選択した保存済ループを有効 / 無効にします。
41. Loop-LED-Bar	現在選択されているループ長を表示します。 - 1/32 LED 1 点減 - 1/16 LED 2 点減 - 1/8 LED 3 点減 - 1/4 LED 4 点減 - 1/1 LED 1 常時点灯 - 2/1 LED 2 常時点灯 - 4/1 LED 3 常時点灯 - 8/1 LED 4 常時点灯 - 16/1 LED 5 常時点灯 - 32/1 LED 1 ～ 5 常時点灯	現在選択されているループ長を表示します。 - 1/32 LED 1 点減 - 1/16 LED 2 点減 - 1/8 LED 3 点減 - 1/4 LED 4 点減 - 1/1 LED 1 常時点灯 - 2/1 LED 2 常時点灯 - 4/1 LED 3 常時点灯 - 8/1 LED 4 常時点灯 - 16/1 LED 5 常時点灯 - 32/1 LED 1 ～ 5 常時点灯
42. 1/2x Loop	現在のループ長を半分にします。	現在のループ長を半分にします。
43. 2x Loop	現在のループ長を 2 倍にします。	現在のループ長を 2 倍にします。
44. Jogwheel	ジョグホイールは再生ヘッドの停止、スクラッチを行ないます (Vinyl Mode On -> SHIFT+SLIP)。 ジョグホイールの端を動かすことでピッチベンドが可能です。 注意！ Vinyl モードが無効の場合、ジョグホイールを回すとピッチベンド機能のみ使用できます。 - SHIFT + Turn Jog Wheel：トラック内でニードルサーチ（早送り）します。	ジョグホイールは再生ヘッドの停止、スクラッチを行ないます (Vinyl Mode On -> SHIFT+SLIP)。 ジョグホイールの端を動かすことでピッチベンドが可能です。 注意！ Vinyl モードが無効の場合、ジョグホイールを回すとピッチベンド機能のみ使用できます。 - SHIFT + Turn Jog Wheel：トラック内でニードルサーチ（早送り）します。
45. Jogwheel Display	ジョグホイール ディスプレイには、現在デッキにロードされているトラックに関する情報が表示されます (USB A/B、デッキ 1/3 2/4、Time、BPM、ピッチ、ピッチレンジ、トラック内位置の連続 LED 表示、および回転トラックマーカー)。	ジョグホイール ディスプレイには、現在デッキにロードされているトラックに関する情報が表示されます (USB A/B、デッキ 1/3 2/4、Time、BPM、ピッチ、ピッチレンジ、トラック内位置の連続 LED 表示、および回転トラックマーカー)。
46. Param 1 <	有効なモードに応じてパラメーター機能をコントロールします（減方向）。 - SHIFT+Param 1<：有効なモードに応じて、第 2 階層のパラメーターをコントロールします（減方向）。	有効なモードに応じてパラメーター機能をコントロールします（減方向）。 - SHIFT+Param 1<：有効なモードに応じて、第 2 階層のパラメーターをコントロールします（減方向）。
47. Param 1 >	有効なモードに応じてパラメーター機能をコントロールします（増方向）。 - SHIFT+Param 1<：有効なモードに応じて、第 2 階層のパラメーターをコントロールします（増方向）。	有効なモードに応じてパラメーター機能をコントロールします（増方向）。 - SHIFT+Param 1<：有効なモードに応じて、第 2 階層のパラメーターをコントロールします（増方向）。
48. SHIFT	ユニットのラベルに従って、第 2 階層の機能を有効にします。	ユニットのラベルに従って、第 2 階層の機能を有効にします。
49. Deck Select (1/3 / 2/4)	各プレーヤーのデッキを切り替えます。 - Left player：デッキ 1/3 - Right player：デッキ 2/4	各プレーヤーのデッキを切り替えます。 - Left player：デッキ 1/3 - Right player：デッキ 2/4
50. SYNC	シンク機能を有効にします。 - SHIFT+Sync：シンク機能を無効にします。	シンク機能を有効にします。 - SHIFT+Sync：シンク機能を無効にします。
51. CUE	- During playback：一時的なキューポイントに戻って停止します。 - In pause モード：現在位置に新しいキューポイントを設定します。 Cue ボタンをもう一度押すと、Cue を押している間は一時的なキューを再生します。 - SHIFT+CUE：再生中にボタンを 1 秒以上押すと、再生ヘッドがトラックの先頭に戻るか、前のトラックをロードします。	- During playback：一時的なキューポイントに戻って停止します。 - In pause mode：現在位置に新しいキューポイントを設定します。 Cue ボタンをもう一度押すと、Cue を押している間は一時的なキューを再生します。 - SHIFT+CUE：再生中にボタンを 1 秒以上押すと、再生ヘッドがトラックの先頭に戻るか、前のトラックをロードします。
52. Play/Pause	再生 / 一時停止を有効にします。 - SHIFT+CUE：一時的なキューをトリガーし、再生ヘッドはその時点から再生します。	再生 / 一時停止を有効にします。 - SHIFT+CUE：一時的なキューをトリガーし、再生ヘッドはその時点から再生します。

Serato DJ Pro	djay Pro AI
パフォーマンスセクション：	
53. Performance Pad Modes (1-4)	パッド上にマークされているパッド モード (1 ～ 4) を有効にします。 注意！もう一度押すと、第 2 階層のパッド モード (5 ～ 8) が有効になります。 1. Hot Cue： デッキごとに 8 つの利用可能なキュー ポイントをトリガーします。ホットキューの色はソフトウェアでカスタマイズでき、パッドは対応する色で点灯します。 注意！パラメーターノブはフリップ機能を実行します ****： 再生、録音、ループ、オン / オフ - SHIFT+PAD：現在のキューポイントを削除します。 2. Loop Roll： Pad 1 ～ 4 は、パッドを押し続けるとループ ロールを 有効 / 無効にします。各パッドは 1/32 ～ 4/1 の特定のループ長に割り当てられます。ループロール範囲はパラメーター 1 ボタンでシフトできます。Pad 5 ～ 8 はビート ジャンプ機能をコントロールします。 3. Saved Loops： ループは 8 個まで保存できます。各パッドは 1 つのループスロットを表します。ループを保存するには、オートループを設定してパッドを押します。もう一度押すとループが削除されます。 - SHIFT+PAD：ループをトリガーします。 4. Sampler： Pad 1 ～ 8 は、使用可能な 8 つのサンプルスロットをトリガーします。パラメーターボタンを使用して、バンク A、B、C、D を前後に切り替えます。音量はサンプラー (6) で調整します。 - SHIFT+PAD：サンプルを停止します。 パッドモードは第 2 階層です： 5. Pitch Play*： Pitch n Time DJ と組み合わせることで、さまざまな音色でキューを再生できます。使用可能なキーは 3 個あります。それらの切替は、左、または右の PARAM 1 ボタンを押します。基本トーンのパッドは常時白色点灯です。キューポイントは通常のピッチで再生されます。ピッチブレイモードの場合、パッドを押すとキュー ポイントがさまざまなピッチで再生されます。 - SHIFT+PAD：ピッチブレイ用に別のホットキューポイントを選択します。 6. Saved Flip****： 最大 8 個の保存済フリップを表示し、Pad 1 ～ 8 は以前に保存したフリップを開始します。 - SHIFT+PAD：それぞれのフリップに直接ジャンプして開始します。 7. Slicer： スライサーが有効になると、定義されたセクションは 8 個に等しく分割されます。8 個のスライスされたセクションは、対応するパフォーマンスパッドに割り当てられます。再生ヘッドがセクションの終わりに到達すると、セクションを越えて移動し、新しいセクションを形成します。 8. Scratch Bank： スクラッチバンクモードは、Serato DJ Pro ライブラリからオーディオファイルを 8 個のパフォーマンスパッドに割り当てられます。パッドを押すと、それぞれのファイルをデッキにロードします。左側のパッドはデッキ 1 にロードされ、右側のパッドはデッキ 2 にロードされます。スクラッチバンクファイルを設定するには、Serato DJ Pro のトップバーにあるスクラッチバンクアイコンをクリックします。「スクラッチバンク」パネルが表示されます。このパネルは、必要なオーディオ ファイルをロード、または取り出して個人セッティングが行なえます。設定には、スタートポイント、リピートのオン / オフ、キーロックのオン / オフが含まれます。スクラッチバンクパネル左上隅のボタンをクリックすると、拡張ビューと簡易ビューが切り替えられます。 - SHIFT+PAD：SHIFT を押しながらスクラッチバンクパッドをクリックすると、現在ロードされているファイルが削除され、そのデッキにロードされている最後のトラックをリロードします。
54. Performance Pads (1-8)	パッド上にマークされているパッド モード (1 ～ 4) を有効にします。 注意！もう一度押すと、第 2 階層のパッド モード (5 ～ 8) が有効になります。 1. Hot Cue： デッキごとに 8 つの利用可能なキュー ポイントをトリガーします。ホットキューの色はソフトウェアでカスタマイズでき、パッドは対応する色で点灯します。 - SHIFT+PAD：現在のキューポイントを削除します。 2. Loop Roll： 各パッドは押し続けるとループ ロールを有効 / 無効にします。各パッドには 1/32 ～ 4/1 の特定のループ長が割り当てられます。 3. Saved Loops： ループは 8 個まで保存できます。各パッドは 1 つのループスロットを表します。ループを保存するには、オートループを設定してパッドを押します。もう一度押すとループが削除されます。 - SHIFT+PAD：ループをトリガーします。 4. Sampler： Pad 1 ～ 8 は、16 個の利用可能なサンプルスロットをトリガーします。左デッキのサンプラーモードはサンプル 1 ～ 8 をコントロールし、右デッキのサンプラーモードはサンプル 9 ～ 16 をコントロールします。サンプラーモードボタンを 2 秒間押すと、PAD ベロシティとアフタータッチが有効になります。サンプルをさまざまな音量で再生できます。 注意！サンプラー ビューは、2 デッキ ビューのみ使用可能です。 - SHIFT+PAD：サンプルを停止します。 パッドモードは第 2 レイヤーです： 5. Pitch Play： キューをさまざまなキーで再生できます。使用可能なキーは 3 個あります。それらの切替は、左、または右の PARAM 1 ボタンを押します。ルートキーのあるパッドは常時白色点灯です。キューポイントは通常のピッチで再生されます。ピッチブレイモードの場合、パッドを押すとキュー ポイントがさまざまなピッチで再生されます。 - SHIFT+PAD：ピッチブレイ用に別のホットキューポイントを選択します。 6. Touch FX Mode： ドラムパッドには、各パッドを押すと有効になる様々なインスタントエフェクトがあります。 7. Slicer： スライサーが有効になると、定義されたセクションは 8 個に等しく分割されます。8 個のスライスされたセクションは、対応するパフォーマンスパッドに割り当てられます。再生ヘッドがセクションの終わりに到達すると、セクションを越えて移動し、新しいセクションを形成します。 8. Neural Mix™： Neural Mix™ モードでは、ドラムパッドを介して Algoriddim Neural Mix™ 機能をコントロールできます。ドラムパッドは次のように割り当てられます。 - PAD 1：Drum Solo On/Off＝ハーモニックとボーカルをミュート - PAD 2：Harmonic Solo On/Off＝ドラムとボーカルをミュート - PAD 3：Vocal Solo On/Off＝ドラムとハーモニックをミュート - PAD 4：Drum Swap On/Off (選択したチャンネルのドラムステムを無効にし、他のチャンネルのドラムステムのソロを有効にします) - PAD 5：Drum Solo Hold＝ドラムとボーカルをミュート - PAD 6：Harmonic Solo Hold＝ドラムとボーカルをミュート - PAD 7：Vocal Solo Hold＝ドラムとハーモニックをミュート - PAD 8：Drum Swap Hold (選択したチャンネルのドラムステムを無効にし、他のチャンネルのドラムステムのソロを有効にします) 色分けされたベロシティ センシティブ ドラム パッド セクションにより、様々なパフォーマンスモードをコントロールします。

Serato DJ Pro		djay Pro AI
フロントセクション：		
55. Mic 2-In (TRS)	マイク入力 2 (6.3 mm 端子)	マイク入力 2 (6.3 mm 端子)
56. Crossfader Curve-Adjust	クロスフェーダーのカーブ調整	クロスフェーダーのカーブ調整
57. Headphone Connections (3.5 mm / 6.3 mm)	ヘッドフォン出力 (3.5 mm / 6.3 mm 端子接続)	ヘッドフォン出力 (3.5 mm / 6.3 mm 端子接続)
リアセクション：		
58. Mic 1-In (XLR/TRS)	マイク入力 1 コンボ端子 (XLR / 6.3 mm 端子接続)	マイク入力 1 コンボ端子 (XLR / 6.3 mm 端子接続)
59. PSU-Power Connection	AC アダプターを接続します。	AC アダプターを接続します。
60. Power ON/OFF	パワー オン / オフ	パワー オン / オフ
61. USB-C Port (iOS)	iOS 用 USB-C ポート	iOS 用 USB-C ポート
62. USB-In-Switch	USB-C、USB-B B ポート選択スイッチ	USB-C、USB-B B ポート選択スイッチ
63. USB-B A-Port	PC/Mac 用 USB port 1	PC/Mac 用 USB port 1
64. USB-B B-Port	PC/Mac 用 USB port 2	PC/Mac 用 USB port 2
65. Line-In Channel 3 (RCA)	チャンネル 3 ライン入力 (RCA)	チャンネル 3 ライン入力 (RCA)
66. Phono/Line-In Channel 1 (RCA)	チャンネル 1 フォノ / ライン入力 (RCA) 注 意！ Serato DJ Pro 用 の、Noisemap™ Control tone CDs または Vinyl** を使用してコントロールできます。	チャンネル 1 フォノ / ライン入力 (RCA)
67. Phono/Line-Switch Channel 1	チャンネル 1 用シグナルイン選択スイッチ	チャンネル 1 用シグナルイン選択スイッチ
68. Grounding-Screw (GND)	アース用ネジ	アース用ネジ
69. Phono/Line-Switch Channel 2	チャンネル 2 用シグナルイン選択スイッチ	チャンネル 2 用シグナルイン選択スイッチ
70. Phono/Line-In Channel 2 (RCA)	チャンネル 2 フォノ / ライン入力 (RCA) 注 意！ Serato DJ Pro 用 の、Noisemap™ Control tone CDs または Vinyl** を使用してコントロールできます。	チャンネル 2 フォノ / ライン入力 (RCA)
71. Line-In Channel 4 (RCA)	チャンネル 4 用ライン入力 (RCA)	チャンネル 4 用ライン入力 (RCA)
72. Booth-Out (TRS)	ブース出力 (2 x 6.3 mm 端子)	ブース出力 (2 x 6.3 mm 端子)
73. Master-Out 2 (RCA)	マスター出力 2 (RCA アンバランス)	マスター出力 2 (RCA アンバランス)
74. Master-Out 1 (XLR)	マスター出力 1 (XLR バランス)	マスター出力 1 (XLR バランス)
75. Kensington Lock	盗難防止用ケンジントロック	盗難防止用ケンジントロック

* Serato Pitch'n Time DJ が必要です。

** Serato DVS が必要です。djay では使用できません。

*** 希望のストリーミングサービスのサブスクリプションが必要です：Tidal、Soundcloud Go+、Beatport Link、および Beatsource Link

**** Serato Flip が必要です。

***** djay Pro AI (Mac 版) のみで使用可能です。

最小システム要件

Mac または Windows 用の Serato DJ Pro システム要件は、[serato.com](https://www.serato.com) で確認できます。

iOS/iPadOS、Mac または Windows 用の djay Pro AI システム要件は、[algoriddim.com](https://www.algoriddim.com) で確認できます。

iPhone、iPad、iPod touch、iTunes、Mac、Mac OS は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
iOS は、米国およびその他の国における Cisco の商標標識を含む商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Serato DJ Lite、Serato DJ Intro、Serato DJ Pro、Serato DJ、Scratch Live は Serato Limited の登録商標です。Beatport は Beatport, LLC の商標です。
Soundcloud は SoundCloud Limited の商標です。
djay は Algoriddim GmbH の登録商標です。
Tidal は Aspiro AB の商標です。
Beatsource は Beatsource, LLC の商標です。
YouTube、Google Play、Google Play ロゴは Google Inc. の登録商標です。

技術仕様

- 入出力：XLR マスター出力、6.3mm ジャックブース出力 (TRS)、RCA マスター出力、2 x RCA 入力 (フォノ / ライン)、2 x RCA 入力 (ライン)、1 x コンボマイク入力 (XLR/TRS ジャック)、1 x マイク入力 6.3mm ジャック (TRS)、1 x USB-B、1 x USB-C/USB-B、2 x ヘッドフォン (6.3mm/3.5mm ジャック)
- サイズ (本体)：657 x 68 x 391 mm
- サイズ (ドッキングステーション)：320 x 9 mm
- 質量：5.7 kg
- 最小システム要件：DJ ソフトウェアのシステム要件については、メーカーの仕様をご参照ください。
- 同梱品：コントローラー、マニュアル、USB ケーブル (USB-A to USB-B)、電源 (12V/3A)

- ライン入力時：0dBV

- マスターアウトバランス
 - 定格 (volume@2o'clock)：4dBu
 - Max. (THD>0.01%)：14dBu
 - THD：< 0.01%
 - SNR：< -85dB

- マスターアウトアンバランス
 - 定格 (volume@2o'clock)：6dBu
 - Max. (THD>0.01%)：16dBu
 - THD：< 0.01%
 - SNR：< -85dB

- ブース出力
 - 定格 (volume@2o'clock)：4dBu
 - Max. (THD>0.01%)：14dBu
 - THD：< 0.01%
 - SNR：< -85dB

カスタマーサポート

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■Dirigent へのご登録方法：

Dirigent ユーザー登録ページ（<https://dirigent.jp/mypage-reloop-register>）にアクセスし、登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■Dirigent カスタマーサポート：

メールでのお問い合わせは、ユーザー登録後、下記 Dirigent マイページのお問い合わせフォームをご利用ください。

Dirigent マイページ・ログイン：<https://dirigent.jp/mypage-log-in>

■修理について：

製品の修理につきましては、下記ページをご一読くださいますようお願いいたします。

修理について：<https://dirigent.jp/repair>

株式会社銀座十字屋ディリгент事業部

dirigent.jp

Dirigent

製品の仕様および外観は、予告なく改変される場合があります。また、本取扱説明書内の図は、製品を模したイラストです（誤植・誤表記は除く）。



Reloop Distribution
Global Distribution GmbH & Co. KG,
Schuckertstrasse 28, 48153 Muenster /
Germany
Fax: +49.251.6099368